

公表: 令和2年2月29日

事業所名: 発達支援BOXらじあぼ

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏ま えた改善内容又は改善目 標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			子供さんの個性や体調に応じて、2部屋と廊下スペースを活用しています。今年度、2階部分の改修も済ませました。	様々な状況に応じて、2階部分もどんどん活用し、活動の幅を広げられるように取り組んで参ります。
	② 職員の配置数は適切であるか	○			OT・Ns・児童指導員・指導員等の専門職を配置しています。	専門的視点から、より良いリハビリ等の療育が行えるような支援を行っていききたいと思えます。さらに色々な特技や経験を持った職員を増やしたいと考えています。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			導線は、可能な限りバリアフリーにしておりますが、あえて一部バリアフリーにし、リハビリの一環として活用しています。	常に、子供達にとってわかりやすく活動しやすい場なのかを振り返りながら取り組んで参ります。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		都度会議を実施し、その子にあった目標・関わりを心掛けています。チーム制を取り入れており、チームで話し合いながら取り組みを進めております。	少しずつ職員がPDCAサイクルを考慮した関りが可能となっており、しかし、もっと上を目指して、取り組んで参ります。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートにより、意向確認を行っており、昨年度頂いたご意見より課題を抽出し、今年度いくつかを解決することができました。	まだ解決できていない点と、今年度新たに見えた点を、来年度中には解決できるように取り組んで参ります。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			今年度で2回目となります。毎年評価を実施し、ホームページ上で公開して参ります。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		第三者評価の活用も検討していきたいと思えます。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			職員の知識・技術・経験に合わせ、内外部の研修等を、積極的に活用するようにしています。	

⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		相談支援専門員、園や学校、医療機関等との連携を図り、子供さんや保護者様との情報交換を通して得られたニーズを分析し、計画の作成を行っています。	様々な情報を基に、子供さんの主な課題に対する支援を保護者の皆様と一緒に考えていきます。
⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		事業所内で統一したアセスメントツールを活用しています。	より専門的でわかりやすいアセスメントツールの導入は、今年度中に達成できませんでしたので、今後実施できればと思います。
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		専門性を発揮しつつ、チームとしてプログラムを立案しております。	
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		子供さんの変化を見ながら、柔軟にプログラムを展開しています。	遊具やおもちゃを増やし、活動の種類を増やせるようにして参ります。

適

切な支援の提供	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		子供さんと一緒に時間割を作成したり、普段なかなか取り組めない課題に取り組んだりしながら支援しております。	可能な範囲で、外出してのリハビリを増やしたいと検討しております。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		子供さんの状況に応じて、個別・集団活動を組み合わせた計画を作成しております。	もう少し、いろいろな活動を導入できるようにして参ります。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝の会を設け、職員全員が情報を共有できるよう心がけています。	今後も継続して参ります。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援終了後、職員間で話し合い、気づいた点を共有しています。しかし、送迎に時間がかかる場合もあり、皆が参加できない難しさも感じます。	効率的に打ち合わせが行えるように、工夫して参ります。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の支援に関する記録を徹底し、必ず目を通すようにしています。	短時間で内容の濃い記録を目指して取り組んで参ります。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的モニタリングを実施し、必要に応じて計画の見直しをしています。	漏れが内容、期間の把握等をしっかりしていきたいと思っております。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		事業所内会議では、児発管を中心として、ガイドラインに示してある項目も参考にしながら実施しております。	「ガイドライン」に基づく考え方や具体的支援の方法等については、まだまだ不十分さを感じるところがあります。今後も、さらなる理解を深めていきたいと思っております。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		担当制にし、会議には担当者が参画しています。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		適時、学校の担任や保護者様を通して、確認と調整を行っております。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		電話・メール・訪問・文書等の手段を活用しながら、主治医等と連携し、支援させて頂いております。	上記と同様に、まだまだ連携の不十分さを感じているので、より密にしていければと思っています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		可能な範囲ではございますが、情報の共有は行わせて頂いております。	もう少し、積極的に園等に対して働きかけていければと思っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		今現在、移行される方は経験しておりません。	数年後に予想されることから、それまでには、わかりやすい情報提供の方法を築いていきます。

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		可能な範囲で研修会に出席させて頂きながら、連携を図っております。	まだまだ不十分さを感じているので、より密にしていければと思っています。
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○		保護者様の多くは、望まない意見が多いので、今までは実施しておりません。今後は状況に合わせて対応していきたいと思います。

	⑳	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		機会が得られた場合は、参加しています。	まだまだ不十分に感じるため、より積極的に参加していきたいと考えています。	
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		送迎時や連絡帳、活動時の写真等を活用し、子供さんの状況や課題等についての相互理解を深めています。	もっとじっくりと話し合う機会を設けていければと思います。	
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		子供さんに合わせた関わり方等の提案・助言をさせて頂いております。	まだまだ不十分に感じています。相談会や参観日の開催等、検討して参ります。	
保護者への説明責任等	㉓	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○		契約時に、説明させて頂いております。	限りのある時間の中ではございますが、継続して、わかりやすい説明を心掛けて参ります。	
	㉔	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		悩み等に対し、臨機応変に対応させて頂いております。	都度、対応させて頂いております。	
	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか				○	父母の会の結成を望まない保護者様が多いため、状況に合わせて対応していきます。	
	㉖	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○			契約時に、相談・苦情対応窓口を説明しております。また、マニュアルを整備し、対応できるようにしております。	今後も継続し、都度、電話や面談などを実施して参ります。
	㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか				○	今年度は写真を活用し、都度活動報告を行うようにしてみました。	定期的な会報の発行は困難でした。しかし、職員の仕事等の計画・実施に対するスキルが向上してきております。情報発信の方法につきましては、当方が実施しやすく、皆様に分かりやすい方法を検討していきます。
	㉘	個人情報に十分注意しているか		○			契約時に、個人情報の取扱いについて説明しております。	職員への周知も、さらに徹底して参ります。退職者にも、個人情報を漏らさないよう、誓約書に署名してもらっています。
	㉙	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○			個々の子供さんにとって、意志疎通のしやすい方法を検討し、導入しております。	少しずつ、ツールが増えてきました。今後も様々なツールを検討・導入していきたいと思っております。
	㉚	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか				○	なかなか地域の皆様を招待する行事を計画できずにいます。	無理せず、地道に取り組んで参ります。
		㉛	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		都度、内容を見直しています。	各種マニュアルを見直し、打合せ時や研修を通して、職員への周知を図っていきます。
	㉜	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		最低でも半年に1回、子供さん達と一緒に、避難訓練を行っております。	継続して実施します。	

非常時等の対応	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待に対する研修会参加を促しております。また、報道の内容を共有し、随時学びを深めています。	マニュアルを見直し、打合せ時や研修を通して、職員への周知を図っていきます。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在、身体拘束は行っておりません。マニュアルは整備しております。	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アセスメント時に、保護者様より教えて頂いております。	その内容を厳守し、対応させて頂いております。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例集を作成し、事業所内で共有しております。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。